

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : “ INFINITE PHYSIX”

COLOR : SAPPHIRE/DEEP PURPLE/ONYX

COVER STOCK : REX™ PEARL REACTIVE

RG : 2.48(Low-MED/15P) Δ RG : 0.053 (MID/15P)

FACTORYFINISH : 40000GritABRALON

TRACKFLAREPOTENTIAL : 6+(HIGH)

BACK END:19.0(1-20)MAX LENGTH:16(1-20)

●	LONG			
I	MEDIUM		○	
L	SHORT		○	○
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】

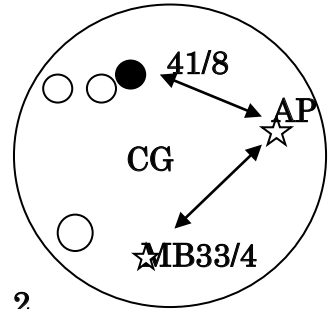
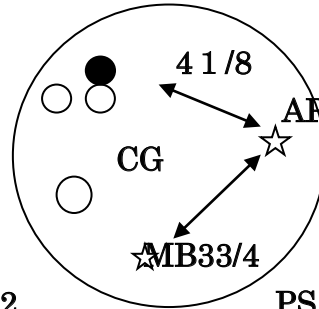


2022年2月17日

レイアウト例

PURE PHYSIX

INFINT PHYSIX



PSA 2

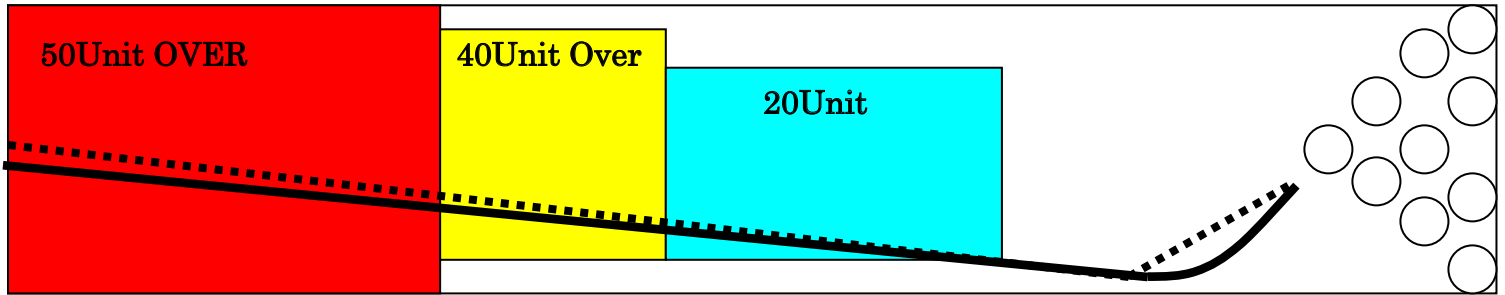
PSA 2

CA55度

CA55度

フラー幅 最大 6 1/4・間隔 1/8

最大 6 1/2・間隔 1/8



0F

15F

27F

38F

45F

比較品ライン

INFINITE PHYSIX

PURE PHYSIX

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アー	1	2	3	4	5	シャープ		ATOMIC CORE
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5				
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△						

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

世界発売品 PHYSIX が登場！搭載されているコアはもちろん重量アトミックコア内臓で直進性が高くオイルに強い素材を被せてもストレスの無いスムーズにブレークポイントまでパワーを運ぶのは流石でした。このスムーズ差がピンヒットした時の爆発的なアクションを生みます。

【ここがポイント】



ボール表面がサンディングされているボールの殆どが当然レーン手前からの摩擦係数が勝ちブレークポイントからは少しパワーロス気味のピンへのあたりを見せますが、このシリーズだけはその定義が当てはまらない感があります、今回の REX パール素材はパール配合率が PURE に比べて少なく少しバックエンドでの曲がり小さくなっていますが、オイルの濃い部分と薄い部分との差でボールパフォーマンスが思い通りにならない動きにはなりづらく、ポケットに収まりの良いボールに仕上がっています。特に薄めのピンアクションは絶品で『あれ？飛ぶの！』とミスショットをカバーしてくれる頼もしいボールでした。やはりフィジックスを超えるボールは出てこないのでしょうか？と思わせます。

発売予定：2022年6月中旬 テスト協力センター：川崎グランドボウル

販売価格 ￥57,200 円

テスター 石原 章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】